

文化 飛翔

Vol. **11**

2012 秋号

平成24年版

「山口県文化芸術白書」の概要

よこがお～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小径



山口県では、文化芸術の振興の状況や施策について、毎年、「文化芸術白書」としてとりまとめ、公表しています。
平成二十四年版白書について、その概要は次のとおりです。

第一部 文化芸術の振興に関する現状

山口県文化芸術振興条例に基づき、文化芸術の振興に関する諸施策を総合的かつ計画的に推進している。

(1) 文化芸術への参加状況

「総合芸術文化祭」における事業数、参加者数の推移

年度	参加者数	事業数
H19年度	73,969	27
H20年度	57,519	26
H21年度	47,869	24
H22年度	52,864	27
H23年度	42,906	22

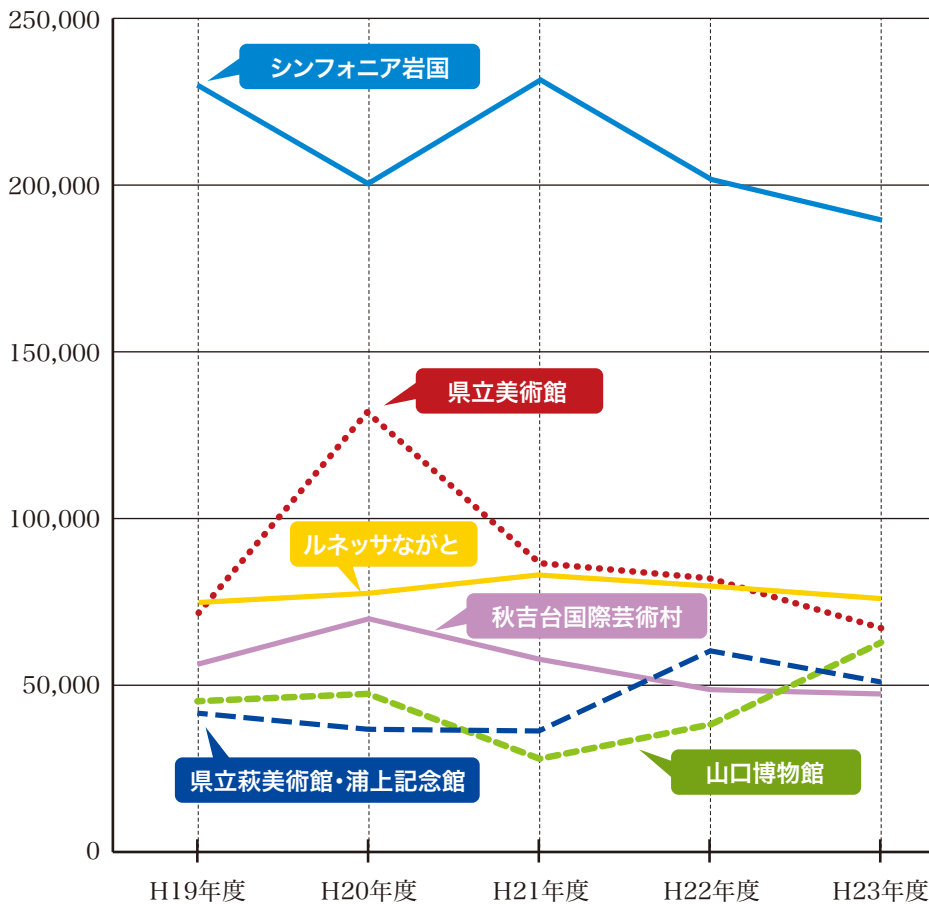
(単位:人、事業)

(2) 文化施設の利用状況

県立文化施設の利用状況

年度	利用者数	前年度比・増減
H19年度	520,758	△20.1%
H20年度	562,598	8.0%
H21年度	521,716	△7.3%
H22年度	508,516	△2.5%
H23年度	491,566	△3.3%

(単位:人)



※白書は次のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a19300/index/>

第二部 平成二十三年度における文化

芸術振興関連施策(実績)

山口県総合芸術文化祭



- ・国民文化祭で培われたノウハウやネットワークの継承・発展
- ・県民の自主的・主体的な文化活動の促進及びその活動成果の発表の場の提供

・メインステージ

(平成23年11月20日山口市民会館)

「音楽でつなぐ未来への架け橋」と題して、県内音楽団体等による音楽フェスティバルを開催

- ・分野別フェスティバル 発表 19団体
- ・文化祭参加者総数 42,906人

県立美術館の整備

- ・作品の保全や来館者の利便性、鑑賞空間の質的向上を基本に改修工事を実施し、明るく開放的な、県民がより親しみやすい環境を整備

・エントランスを前面に拡張、授乳室を新設

- ・展示室Cに24畳の畳空間を新設し、日本画に特化した質の高い空間を整備
- ・演色性の高いLED照明の導入
- ・通路付き散策路を整備し、
- ・バリアフリー化を推進 他



第三部 平成二十四年度における

文化芸術振興関連施策(計画)

基本的施策	主な事業の概要
県民の鑑賞、参加及び創造の機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○山口県総合芸術文化祭推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・美術部門(10月山口市)、文芸部門(11月美祢市) ・音楽部門(11月岩国市) ○県立文化施設における企画展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館 カンヴァスに描かれた女性たち展等 ・県立萩美術館・浦上記念館 アール・デコ展、龍泉窯青磁展等 ・シンフォニア岩国 フィルハーモニア管弦楽団公演等 ・秋吉台国際芸術村 秋吉台音楽コンクール、秋吉台の響き等 ・ルネッサながと 万作・萬斎狂言、松竹大歌舞伎、文楽等
子どもの文化芸術活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○美術館子ども芸術文化普及事業 ○県立文化施設における子ども向けプログラムの実施
地域の特色ある文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○やまぐち文学回廊構想の推進 ○美術館のまちなか交流の促進
交流の促進	○山東省、慶尚南道の芸術団等を招き伝統芸能フェスタを開催
文化施設の充実	○県立美術館のリニューアルオープン

第四部 市町における取組

文化芸術に関する主要事業、表彰制度、助成制度、市町担当部局等を掲載

第五部 資料編

文化芸術団体状況、文化施設状況、表彰受賞者一覧、助成制度一覧などを掲載

会員紹介

岩国市文化協会

- 会長 藤谷 光信
〒740-8585
- 岩国市今津町1-14-51
- 岩国市教育委員会生涯学習課内
☎0827-29-5211

岩国市文化協会は、昭和二十八年に、岩国に文化の灯をともすべく発足しました。発足当初は、十団体に満たない体制でスタートを切りましたが、現在は、二十二分野、百五団体で構成されています。

主な活動としては、今年で五十六回目を数える岩国市民文化祭の開催と会報「岩国文化」の発行、また、毎年五月には、ステージと展示、お茶席、体験講座などを総合的に組み合わせ趣向を凝らした「春の総合文化フェスティバル」を開催しております。特に今年、「こどものためのサロンコンサート」や

茶道、華道、クラフトの体験講座など、子どもたちが楽しみながら気軽に文化に触れることのできる内容を充実させ、多くの親子や子どもたちで賑わいました。子どもたちの集中力と豊かな創造力に、協会の指導者も刺激を受けた、フェスティバルとなりました。

また、国際交流事業も積極的に実施しており、今秋には、岩国市の姉妹都市である米国ワシントン州エベレット市への文化交流使節団の派遣を予定しております。

岩国市文化協会は、平成二十六年には六十周年を迎えます。今後、協会の充実を図り、より一層芸術文化の創造につとめ、次世代への継承と地域の文化の発展に貢献したいと考えております。

周東文化協会

- 会長 三坂 仁
〒742-0301
- 岩国市周東町相生4543-2
☎0827-85-0132

昭和五十一年発足の周東町文化協会は、平成の合併に伴い旧市町村の文化協会も統合の方向で検討が進められる中、諸般の事情で実現が難しく、やむを得ず活動を休止してまいりました。

しかし、各方面からその必要性について声が上がリ、この機会に周東独自の文化を発掘・発展させ、夢のあるまちづくりの一役を担う「周東文化協会」として、平成二十年四月に再発足しました。

そして、原点に立ち返り地域に存在感のある文化協会にするため、昨年度一年間をかけて検討を進め、その結果、専門部は独自性と活性化を期して五部に再編。また、理事を二十名に増員し、新進気鋭の理事を選任しました。

主な事業としては、講演会「心はいつも青空」元KRYアナウンサー・大谷泰彦氏。「ふれあいコンサート」マウンテンマウスと毛利治郎、大迫蘭美氏。文化講座「地域文化のかきくけこ」山口短大准教授・山崎凱氏ほか。

「金子みすゞさんのまなざし」金子みすゞ顕彰会事務局長・草場睦弘氏。文化講演会「もう一度考えたいことばの力」元NHKアナウンサー・室長・山根基世氏。「金子みすゞフェスティバル」映画・コンサート。きりえ展など。

今年度は、講演会「東日本大震災ー私たちに何ができるのだろうか」シンガーソングライター・毛利治郎氏。韓国映画「ハモニー」心をつなぐ歌と地元コーラスグループ発表会。視察研修旅行や会報の年四回発行。各種団体との共催、後援事業等を実施します。



阿東文化協会

- 会長 山田 良
〒759-1512
- 山口市阿東徳佐中33882
阿東地域交流センター内
☎083-956-0116

阿東文化協会は昭和五十八年七月、地域文化の関心と高揚を目的として発足以来、生花、短歌、俳句、川柳、書道、陶芸、草木染、彫刻、絵手紙、コーラス、舞踊、軽音楽楽団、フラワーデザイン、郷土史研究会の十七団体や、盆栽、手芸などの個人会員三名で活動を続け、今年で三十年目になります。

各部門ごとに定例教室を行うほか、地域のイベントへの出演や施設への慰問など、外部との交流も加えて、資質の向上に励んでいます。

主な活動は年一回の文化祭。日ごろの努力の成果を二日間に凝縮して発表します。文芸、生花等は作品展示、舞踊などの芸能発表はステージで行います。同時に阿東文学講座実行委員会が主催する文学講座を開催。近年は卓越した地元の映像作家によるビデオ上映と講演で阿東の文化の再認識に努めてきました。しかし今年度が節目の年でもあることから、視野を広げて、「狂言」にスポットをあて山口驚流狂言保存会の協力を得て「不毒」上演と解説を実現。狂言は小学校国語でも採用されており、小学生から高齢者まで幅広く好評を得ました。

また、年度末近くには文化施設や文化財などを解説員付きで訪ねる「日研修の「文化バス」」を企画運行し、五十名余という定員を超える参加が続ぎ人気事業の一つになっています。

昨今は当会構成員の高齢化が影響し、会員減少傾向にありますが、これからも阿東で培われた諸々の文化を育み伝えるべく、会の目的達成に努力いたします。



このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

山口県吹奏楽団

● 代表 松田 和寛
 〒746-0082
 周南市大字下上731-7
 ☎0834-6216248



山口県吹奏楽団は、小編成での活動を中心とし、質の高い演奏表現を目指すと共に、各々の演奏技術及びアンサンブル技術の向上を図り、音楽表現の造詣を深めることを目的として、平成十九年三月に発足し、山口、防府地区在住の管打楽器奏者を中心に県内各地より集まった二十五名の管打楽器奏者で活動を始め、現在は三十名の団員で主に山口市内の施設を利用して月に二回程度の全体練習等の活動を行っています。

主な活動としては、所属する団員それぞれが県内各地の学校等からの依頼により各楽器の演奏や、技術指導、地域施設等からの依頼により様々な編成での演奏会を行っています。

これまでに、第二回山口県総合芸術文化祭メインフェスティバルでのふるさとのアーティスト記念コンサートへの出演や、長門市油谷での演奏会開催、地域イベント等での演奏など活動を続けてまいりましたが、今後もさらに活動の場を広げ地域文化の発展と向上に寄与すべく努力していききたいと思います。

山口県邦楽連盟

● 会長 宮本 歌千穂
 〒741-0071
 岩国市牛野谷町3-46-16
 ☎0827-3118809



昭和二十八年十月、山口県NHK放送局長木村恵氏が、県内の邦楽師匠へ呼びかけ、翌年六月「山口県邦楽協会結成記念・山口県邦楽大会」の開催に尽力されました。途中中断を余儀なくされるものの、この組織が現在の山口県邦楽連盟の前身として果たした役割は大であつたらうと考えられます。（県邦楽連盟三十年史参考）

昭和四十四年秋、山口県邦楽大会(第二回)が下関市で開催されて以来、各市まわりもちで実施し、本年は、長門市で第十四回が九月に開催されました。

現在、山口県邦楽連盟は、加盟団体に二十二団体を有し、主たる活動内容は、年一回、秋に実施される邦楽大会を始めとし、国民文化祭への参加が挙げられます。中でも平成十八年の国民文化祭は、山口県の引き受けとなり、邦楽部門は宇部市で実施される関係上、行政関係者を筆頭に、県内邦楽人がこぞって故藤村恭山推進委員長の指揮下に入りました。一人何役もこなし成果を挙げた二日のできごとは、この大会に係わった者の誇り、感動そのものであり、特筆すべき大イベントでした。

その他、学校教育面にも協力を惜しまず、希望校への実技指導やプロによる模範演奏等、県内を巡回しています。また、ホームや施設への慰問活動を通じ、伝統芸能の伝達に努める一方で、洋楽とのコラボレーション等、新しいものにも挑戦をして成果を挙げています。いずれにせよ我々は、この伝統芸能の火を絶やさず、大きな流れを目標に、音を楽しむ組織の輪を拡げて参る所存です。

第六回山口県総合芸術文化祭 分野別フェスティバル(十二月)

師走のひとつとき、世の喧噪を忘れ、音楽などで一服されてはいかかでしょうか

開催予定日	行事名	
	主催団体	開催予定会場(市町)
12月8日(土)	第15回やまぐち創作文芸大会	
	山口県創作懇話会	宇部市立図書館(宇部市)
12月9日(日)	第57回山口県交響楽団演奏会	
	山口県交響楽団	スターピアくだまつ(下松市)
12月16日(日)	第40回山口県芸術演奏会	
	山口県音楽協会	山口市民会館(山口市)
12月16日(日) 26日(水)、27日(木)	第36回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会	
	山口県管楽アンサンブル連盟	山陽小野田市文化会館(山陽小野田市)

伝統芸能フェスタを行いました

県では、山口県と中国山東省との友好協定締結30周年、山口県と韓国慶尚南道との姉妹提携25周年を記念して、7月22日(日)に山口県教育会館で「伝統芸能フェスタ」を開催しました。

日本、中国、韓国の三国の民俗芸能団体が「踊り」を中心とした民俗芸能を披露し、ことばを越えて観客を魅了し、友好の絆を深めました。

オープニングは、地元山口市の「重源太鼓」です。八坂小学校の2年生以上の児童23人の力強く迫力ある太鼓の演奏で、開演しました。

一番目は、慶尚南道のM&S舞踊団です。色鮮やかな民俗衣装を纏った女性達が、リズムミカルに、華麗に太鼓踊りを披露しました。



続いて、長門市の「俵山子ども歌舞伎」と岩国市の「北中山子ども神楽」が山口県の伝統芸能を披露しました。それぞれ、学校や地域で地元の伝統芸能を受け継ぐ子ども達で、練習を重ねています。子どもたちの堂々たる演技とかわいらしい姿に、会場からは、大きな拍手が送られました。



次は、山東省の済南市青少年宮芸術団です。中国国内だけでなく海外でも青少年友好使者として活躍する芸術団で、10歳から16歳までの12人の団員が来県しました。琵琶や二胡などの中国の民族楽器の演奏や、少数民族舞踊を繰り広げました。



最後は、三国の出演者全員で、「アンパンマンのマーチ」を元気よく唄い、踊り、フィナーレの幕が閉められました。



「各国の伝統芸能を楽しめた」「日本、中国、韓国ともとても素晴らしかった。」「子どもたちの熱演に感動した」「三国の交流が益々進むことを願いたい」との声が寄せられるなど、会場を埋め尽くした観客に大きな感動を与えることができ、大成功を収めることができました。

岩国錦帯橋空港 いよいよ12月13日開港

山口県に2つ目の空港の誕生です。その名も

「岩国錦帯橋空港」。

5連のアーチが美しい「錦帯橋」を擁する岩国市に誕生する岩国錦帯橋空港は12月13日(木)に開港し、全日空により岩国⇌東京(羽田)線が1日4往復運航される予定です。

お車利用の方にはうれしい航空機搭乗者の駐車料金が無料です。

JR岩国駅から車で約7分と交通アクセスも充実していますので、ビジネスに、観光に、是非ご利用ください。



岩国→東京(羽田)

便名	出発時間	到着時間
632便	07:30	09:00
634便	11:30	13:00
636便	15:40	17:10
638便	18:00	19:30

東京(羽田)→岩国

便名	出発時間	到着時間
631便	09:15	10:55
633便	13:20	15:00
635便	15:45	17:25
637便	19:40	21:20

報告／平成24年度の取組

理事会及び総会を開催

平成24年度理事会及び総会を6月12日(火)にホテルニュータナカ(山口市)で開催し、平成23年度事業報告及び収支決算、平成24年度事業計画及び収支予算などが承認されました。総会では、本県の文化振興に多大の貢献をされ、当連盟の創設・発展にもご尽力された田村幸志郎元顧問のご冥福を祈り、会員一同で黙祷を捧げました。

平成23年度事業報告 及び収支決算

平成23年度事業として実施した、地域の文化芸術活動支援事業(講師の派遣)・会報の発行等(一般会計事業)、第5回山口県総合芸術文化祭事業(特別会計事業)について承認を受けました。

平成24年度事業計画 及び収支予算

事業計画として、地域の文化芸術活動支援事業(講師の派遣)・会報の発行等(一般会計事業)、第6回山口県総合芸術文化祭分野別フェスティバル事業(特別会計事業)の実施が決定されました。

平成23年度収支決算

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
一般会計	項目	一般会計	項目
会費(正会員67団体、賛助会員83口)	750,000	交流事業費(パーティ関連)	0
雑収入(利息等)	33	人材派遣事業費	33,751
前期繰越金	121,263	広報事業費(会報制作費)	423,450
計	871,296	管理運営費	191,059
特別会計		予備費	0
項目	決算額	次期繰越金	223,036
計	8,263,655	計	871,296
特別会計		特別会計	
項目	決算額	項目	決算額
県総合芸術文化祭実行委員会負担金	8,263,655	分野別フェスティバル	8,263,655
計	8,263,655	計	8,263,655
合計	9,134,951	合計	9,134,951

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
一般会計	項目	一般会計	項目
会費(正会員64団体、賛助会員91口)	775,000	交流事業費(パーティ関連)	100,000
雑収入(利息等)	1,964	人材派遣事業費	100,000
前期繰越金	223,036	広報事業費(会報制作費)	500,000
計	1,000,000	管理運営費	250,000
特別会計		予備費	50,000
項目	予算額	計	1,000,000
県総合芸術文化祭実行委員会負担金	10,000,000	特別会計	
計	10,000,000	項目	予算額
合計	11,000,000	分野別フェスティバル	10,000,000
		計	10,000,000
		合計	11,000,000

役員改選について

任期(2年)満了に伴い役員改選が行われました。遠藤徳吉副会長、藤田進理事、坂東三嘉寿美理事には、長い間、連盟の運営に御尽力いただきありがとうございました。

会長	上田 俊成	長門文化協会顧問
副会長	早川 定雄	山口県川柳協会顧問
副会長	野村 忠司	下関市文化連合会会長
理事	藤麻 功	柳井文化連盟会長
理事	吉村 徳昌	周南文化協会会長
理事	松原 清	山口文化協会会長
理事	中村 克衛	山陽小野田市文化協会会長
理事	重広 昭雄	山口県吹奏楽連盟顧問
理事	加藤 耀子	山口県洋舞連盟理事長
理事	田中 治法	山口県いけばな作家協会会長
理事	松井 誠	山口県高等学校文化連盟会長
理事	大野 和規	山口県中学校文化連盟会長
監事	末貞 収一	(公財)山口市文化振興財団常務理事
監事	三吉 忠光	(財)岩国の文化を育てる会会長

文化交流パーティを開催

総会終了後、当連盟の会員と本県の文化芸術の振興発展にご貢献をいただいている方々が一堂に会し、文化芸術の愛好家の輪を広げるため、恒例の「文化交流パーティ」を開催しました。オープニングでは、女声コーラス・グループ「こころのソアウエ」の皆様、「天までとどけ」と「カッチーニのアヴェマリア」、「ふるさと」を披露していただき、美しいハーモニーに酔いしれながらパーティがはじまりました。

参加された皆さんは、和気あいあいとした語り合ったり情報交換をされたり、あるいは一緒に記念写真を撮られるなど、賑やかで盛大なパーティとなりました。

最後は、県洋舞連盟の加藤理事長や日本舞踊連盟山口県支部の坂東相談役をはじめとする女性達の万歳三唱で締めくくられ、これからの文化芸術の振興発展に向け、参加者一同が決意を新たにしました。



注目

地域の文化芸術活動を一度利用してみませんか ～講師(指導者)紹介・派遣事業～

当連盟では、県内各地域で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。ご利用いただいた地域では、毎年、継続するケースも多く、専門家による指導が喜ばれています。

◆実施の流れ

- ①申込み(利用者) ↓ ②講師紹介(事務局)
- ↓ ③打合せ(講師・利用者) ↓ ④実技指導・講座等実施

◆経費負担

- ・利用者(申請者)には、お花やお菓子などの材料費のみご負担いただきます(講師への謝金、交通費は不要です)
- ・講師には、山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき2,000円(税額控除後)と交通費の実費を支給

◆お問い合わせ先

山口県文化連盟
〒753-8501
山口市滝町1-1
山口県文化振興課内
☎083-933-2610



文化の小径

いけばなの世界で 平等とはなにか



山口県いけばな作家協会会長
田中 治法 氏

いけばなの世界には、立華、格花と呼ばれるもので、各流派の定められた形でいけられるもの。

茶花、文人花、自由花、と生ける者の個性を重視するものと、大別できるでしょう。

もう五十年も前のことになります。私も地方のいけばなを、勉強しているものとして新しいいけばなを知らずに、いけばなを見ていた記憶があります。今年はおリンピックの年で盛り上がったようですが、そのいけばなの世界のいわゆるカルチャーショックを東京オリンピックで私は感じたのでした。

それは、今までにいけばな作品として見てきた物が、いかに幅も無く、奥行きも無く、また、花材の扱い方法も少なく、今過去の写真を見ても恥ずかしい限りです。

この時代があって、「いけばなを勉強

するのであれば、やはり、京都であろう」と、家元の直門会に入れていただき、古典から現代花まで約十年勉強し直し、下関市で指導活動を始めました。

日本いけばな芸術協会の特別会員としても推挙いただき、名古屋、京都、大阪と活動の場も広がり、いけばな作家の一員としても、どうやら認めていただける段階までこられたようです。

県外活動、市町の活動をやってくると、なぜ山口県単位のいけばな協会がないのだろうか・と思い、年令を幅広くきいてみましたところ、原因がいくつか出てまいりました。

伝統芸術、文化特有の若い先生の考え方、年長の先生の考え方に、大きく考えの相違があること、いけばな展のあり方も、会長、理事長等協会幹部が良い席で生けること等、時代に沿わないことを続けようとしていることなど、協会結成にまで話が進まないこと

が、多すぎて何時の間にか立ち消えになるとのことでした。

そこで、会則ですべて運営方法等を示して、山口県内の有力な先生方に参加を呼び掛けましたところ、出席者全員平等の立場で結成することができました。

来年度は、山口県いけばな作家協会二十周年記念展、下関市いけばな連合会十五周年記念展と節目の記念展を迎えることとなります。

二十年前に当時の理想の会則を作成し、実行に移したことが間違いなかったと確信致しております。

その間、やまぐち県民文化祭参加、山口県総合芸術文化祭参加、また山口県で大成功を収めました「きらら博覧会」「国民文化祭」、また昨年は、国民体育大会の皇族控室であります「貴賓室の装飾花」、「萩陶芸家協会とのコラボレーション」等、定期華展以外にも発表してまいりました。

この二十年間で、後を託す人材の育成にも取り組みましたし、来年度の記念展が終了次第、会長、副会長、理事長、事務局長すべて新しい陣営で新しい二十年に望みたいと思います。

賛助会員の皆様

平成二十四年四月から九月までに御入会いただいた賛助会員の皆様です。

●個人(敬称略・順不同)

- 秋本浩之(山口市) 伊川 悟(山口市)
- 井上 洋(山口市) 遠藤徳吉(山口市)
- 大村慎一(山口市) 金井道子(下松市)
- 熊谷宗圓(岩国市) 黒田節子(下関市)
- 神代祥男(山口市) 小迫勇治(下関市)
- 下尾周男(防府市) 田中米吉(山口市)
- 富永鳩山(防府市) 野村忠司(下関市)
- 花柳由蝶(山陽小野田市) 早川定雄(光市)
- 福永茂藏(長門市) 藤麻 功(柳井市)
- 堀 研(宇部市) 村岡 満(山口市)
- 大和 努(山口市) 山本宣幸(周南市)
- 若柳吉冬貴(防府市)

●団体(敬称略・順不同)

- 特定非営利活動法人あとう観光協会(山口市)
- 池坊山口県連合支部(山口市)
- 有限会社西京ステーションサービス(山口市)
- 下関市いけばな連合会(下関市)
- 弁護士法人末永法律事務所(山口市)
- BAKUフォトオフィス(山口市)
- 医療法人ひるやま内科(下関市)
- 株式会社山口銀行(山口市)
- 山口商工会議所(山口市)
- 山彦俳句会(下松市)

※御本人の御了解をいただいた方についてお名前を掲載しています。

編集後記

県では、今年度からスポーツ・文化局が発足し、昨年の山口国体・山口大会の成果を活かし今後のスポーツ振興に繋げようとの意気込みが感じられます。文化も18年の国文祭を契機に文化力アップしてきましたが、これからもスポーツに負けずに頑張ってまいりましょう。